

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

【声かけあって「不祥事0」をめざします。】

- 帰る前に 心の号令 1・2・3  
「パソコンよし USBよし 机の上よし」
- 体罰禁止, 暴言注意。
- 飲酒・居眠り運転禁止, スピードの出し過ぎ注意。

不祥事根絶のための行動計画

呉市立豊小学校  
作成責任者 校長 坂本 晴則

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の 規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修において、ロールプレイ等研修内容の工夫を行っているが、危機意識に関して職員によって温度差がある。</li> <li>○自校で不祥事が起こる可能性を認めつつも、当事者意識が高いとは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。</li> <li>○教職員各自が実体験や資料を準備し、より積極的にサービス研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々が本校の課題解決について考え、スローガンとしてまとめる。カードを常時携帯する。</li> <li>○職員室入口に拡大したスローガンを掲示し、視覚化する。</li> <li>○教職員間で声をかけあえる良好な人間関係づくりをする。</li> <li>○分掌部会ごとに研修の方法や資料について協議し、全員が必ず研修を進める機会を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日「名札携帯」の声かけをする。</li> <li>○毎月の不祥事防止委員会で状況の点検と確認をする。</li> </ul>
学校組織としての 不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス規律の確保に向けて、教職員個人の技量を高めると共に、組織としての動きを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告・連絡、特に相談体制を確立する。負の情報が管理職まで届くような風通しのいい教職員集団を作る。</li> <li>○管理職が進んで教職員のがんばっている面やよい面、達成感が持てるようにタイミング良く誉める。</li> <li>○分掌部会で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう総がかりでサポートする体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不祥事防止委員会の中で情報交換を行い、状況を把握する。(月に1回)</li> <li>○管理職は、毎日1回は、各職員に声をかける。</li> <li>○分掌部会を月中行事に位置づけ、出された課題を企画委員会で各主任が報告する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初に集中しがちであり、認知度を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し、相談しやすい体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だよりやホームページ・アンケート依頼文等で保護者に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。</li> <li>○総会、役員会、懇談会等において、相談窓口の案内をすると共に積極的に体罰、セクハラについて話題にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期末に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。アンケート結果は、保護者に返す。</li> <li>○懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。</li> </ul>